

## 令和5年度 都立桜修館中等教育学校における教科指導の重点

重点教科	重点課題	取組	発展的取組
<b>国語</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」の指導の充実(記述力の育成)</li> <li>・課題発見力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模試結果などを踏まえ、国公立二次試験を意識した記述演習の実施。</li> <li>・前期課程から引き続き、「知識・理解」の積み上げられるような授業の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り、自己評価などを単元ごとに取り入れる。(授業で身に付けた力のメタ認知)</li> <li>・言語活動を充実させるなど、主体的に「問い」を見つけるような授業設計を行う。</li> </ul>
<b>地歴公民</b>	<b>探究的な学びの実現に向けた指導改善</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年における学習の成果を踏まえ、科目相互の関連を重視して指導内容の構成を図る。</li> <li>・課題に対して、各種資料から得られる情報を基に、ICTを活用により多面的・多角的に考察させ、生徒自身の考えを表現させることを重視する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や学習状況の評価を通して、指導方法の改善を行い、生徒の資質・能力を育成する。</li> <li>・答えのない課題に対して、主体的に探究する時間を設定し、学習の理解を深める。</li> </ul>
<b>数学</b>	<b>論理を習熟し、論理で表現することを重視する</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の着実な定着を基に、数学的な見方・考え方を働かせ、問題解決に向けた適切な論理を駆使する指導を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学および社会事象における問題解決の過程と結果について振り返り、背景にある数学的な一般性や法則性等について論理的に思考し表現する態度等の育成に取り組む</li> </ul>
<b>理科</b>	<b>思考力や科学的視野を持てる学習活動の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対する自身の考えをまとめ、思考の幅を広げるための議論の実施</li> <li>・観察、実験のデータなどを共有させ、原因の追究、確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物や現象を取り上げ、知識を基に科学的解決を目指す学習の実施</li> <li>・課題に対する考え方や解き方を分析するため、難関大の問題をピックアップし活用</li> </ul>
<b>英語</b>	<b>国際社会を担う人材の育成</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4技能をバランスよく伸ばす</li> <li>・異文化理解能力を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年で海外生徒を受け入れ、交流会を実施</li> <li>・オーストラリア等の海外の学校との交流機会を増やす</li> <li>・リーダーシップ研修への参加</li> </ul>